

# 小原台だより

VOL. 3

平成8年1月1日

発行 防衛大学校同窓会  
編集 五領 隆男、徳留 和弘  
上大迫 淳、右田 竜治  
印刷 リエイコープリント



## 目 次

|               |    |
|---------------|----|
| 会長挨拶          | 1  |
| 総会報告          | 2  |
| 平成六年度決算報告     | 4  |
| 平成六年度予算使用実績   | 4  |
| 平成八年度予算       | 5  |
| 平成八年度予算支出計画   | 5  |
| 特集「防大は今」      | 6  |
| 学生の海外派遣実績     | 6  |
| 留学所感          | 6  |
| 六年度運動系校友会活動結果 | 10 |
| 期生会便り         | 10 |
| 平成七年度同窓会行事    | 18 |
| 広報部からのお知らせ    | 18 |
| 防衛大学校の近況      | 19 |



## 新年の御挨拶

同窓会長 中尾時久

と、日本国は亡國の憂き日を見かねません。

### 二 将来構想の策定

一桁期の自衛隊現役会員が逐次定年退職を迎える、同窓会としての過渡期にあたる平成四年に会長を拝命しました。私は定年退職してから就任したので、会長任期の全期間が民間人だった初の会長ということになります。

新年おめでとうございます。  
戦後五十年の節目の昨年は、本来的に水と油の政党が野合して政権をとつた結果、政治混迷がその極に達し、政治的に無為無策の一周年でした。何でも反対してきた無責任政党が、責任ある立場において何も出来ず、醜態を演じたということでしょう。

健全なナショナリズムを有し世界の常識を物差しとして考える者にとっては「五十年経つと、国内で猛威をふるつた諸悪も常識的な決着をみるなあ」と思われることでしょう。進歩的文化人の筆害・口害、社会党の自衛隊違憲、日米安保条約反対の現実無視の非常識。国鉄労組の国民無視の横暴なストの連続。日教組の親共反米の偏向教育等々当時は隆盛をきわめたものも、五十年経つと常識的におかしかったことは通用しなくなります。歴史の評価に耐えないものは贋物なのです。それに比して自衛隊は、創隊以来多くのマスコミや心ない人々から罵声を浴びせられ存在を否定されてきました

が、年月の経過とともに国民の信頼が高まりその真価が認められてきています。

それは自衛隊が歴史の評価に耐え得る本物だからです。国軍に昇格する資格を十分備えていると言えましょう。おかしいと言われて久しいのに変わつていいもの——その最大のものが日本国憲法です。平和という美名の下に一国平和主義という国際的無責任主義。日本は米国に共同で守ってもらうのに相手の危機には知らん振りの自己本位防衛。非常事態対処規定の欠落。権利ばかり規定し義務には頗かぶりの一億総無責任体制。過剰な個人尊重による公共の福祉とのバランスの喪失等々はいずれも憲法の不備に起因しています。勿論良い点も沢山ありますが、歴史的使命は終了したと言えましょう。

昨年も本欄で書いた通り、日本国憲法は陳腐化し疲労しきっています。世界の常識では、現実に馴染まない条項を改正するのは当然であり、おかしいのに変えるのは異常です。

一日も早く憲法を改正して名実ともに国軍を有する真っ当な国にならない

みを振り返ると次のようになります。  
\*財團法人化の実現に努力したが、大勢判断の結果白紙還元。

\*将来構想検討委員会を結成し将来構想を策定。

\*機関紙「ゆうかり」を「小原台だより」と改称し内容を充実。送付の方法も改善。

\*事務局の「編集部」を「広報部」と改称して、機関紙作成のみではなく広報活動を行うよう充実強化。

\*校友会活動での非公務死亡者を殉職に準じて顕彰するよう制度化。

\*六年度から防衛協会主催の所謂「防大公開講座」を協賛。

\*今後のため、事業推進委員会、防大創立五十周年記念事業実行委員会を設置。

また、機関紙の年頭挨拶で現役諸君の言いたいことを代弁して、思い切った発言したのも思い出となっています。母校・防大は二〇〇三年に開校五十周年の節目を迎え、記念事業等が計画されています。同窓会もこのため委員会を結成し、記念事業を行いますので、皆様のご支援・ご協力を願いします。

私の会長在任間は中長期的な将来構想を策定し事業推進委員会を発足させることができ精一杯でしたので、その実行は次期会長にお願いすることになります。幸い会長予定の小西岑生君は将来構想検討委員会でご活躍頂いた方ですので、実行者として最適任と存じます。

蛇足ですが、各幕等で施設整備を担当している同窓生の皆様は、影に日向になりながら防大が計画している大建設事業を側面からブツシューして下さい。本年も皆様にとって良き年でありますようお祈り申し上げます。

### 三 在任間の総括

皆様の暖かいご支援・ご協力を頂戴して、会長の任を全うした四年間の歩

常務取締役・開発本部長、元陸将）

# 総会報告

一年半活動し、この間十回の合同会議、十回の作業部会及び二回の全国規模のアンケート調査を実施した。平成七年三月三十一日、同窓会会长・副会長に対して中間報告を行い、同年七月二十六日に最終報告実施に至る。

工  
段区分と事業の重点  
・中期的に実施すべき事業  
・長期的に実施すべき事業

平成七年十一月十一日㈯、横須賀市「よこすか芸術場」ヨコスカ・ペイサイド・ポケットに於いて、同窓会総会が行われました。当時は、一期生から三十九期生まで九十八名の参加を得ました。

## 主要議題は、

一 平成六年度事業及び決算報告

二 平成八年度事業及び予算審議

三 「将来構想検討委員会」答申の骨子について(報告)

四 新委員会の設置について

五 同窓会会长の改選について

であり、以下三、四項について報告いたしました。なお決算報告及び予算については、四、五頁をご覧下さい。五項目については同窓会会长の新年の御挨拶に述べられていました。

## 「将来構想検討委員会」答申の骨子

### 一 経緯

#### (一) 委員会の編成

- 委員長…志摩 篤 (一期生陸)
- 委員…小西岑生 (二期生海)
- 他一五名

であります。以下三、四項について報告いたしました。なお決算報告及び予算については、四、五頁をご覧下さい。五項目については同窓会会长の新年の御挨拶に述べられていました。

### 三 将来の同窓会活動のあり方

#### (一) 同窓会の目的

- ア 会員相互の親睦
- イ 母校の発展に資する事業協力と援助
- ウ 社会的活動への寄与

#### (二) 同窓会の活動範囲

- ア 会員相互の親睦・交流に資する事業
- イ 母校の発展に資する事業協力と援助
- エ 防衛意識の向上・普及活動
- オ 社会的活動に資する事業
- ウ その他前条の目的を達成するため必要と認める

| 事 業     | 基盤確立              |     |
|---------|-------------------|-----|
| 現行事業の改善 | 中央組織支部場所・施設等強化整備等 | 第1段 |
| 中期的事業   | 見直し・強化            | 第2段 |
| 長期的事業   | 見直し・拡大            | 第3段 |

### (四)

#### ア キ 力 オ

- 基盤確立のための事業及び現行事業(改善)を優先して実施し、その後新体制下で逐次「活動範囲に応ずる事業」(除く現行事業)を実施する。
- 「基盤確立のための事業」とは
- 中央組織の強化
- 支部組織の整備
- 場所、施設に関する事業
- 財政見直しに関する事業
- 「活動範囲に応ずる事業」とは
- 現行事業の改善
- 新規事業
- ア 同窓会の活動範囲及び事業設定
- イ 同窓会の組織の検討・確立
- ウ 会則の見直し
- 委員会の活動概要
- 委員会は、平成六年一月から平成七年七月までの

\* 期代表者と支部代表者による代議員会を新設し同窓会の決議機関の役割を持たせる

工 総 会 議決機関とせず、報告の場とする

総会は毎年1回

規 模 委員長、十名程度の委員、事務局等で合計約十五名

期 間 委員長は阿部博男氏（一期空）を予定

同窓会財政の見直し 総会での承認後から約一年間存続

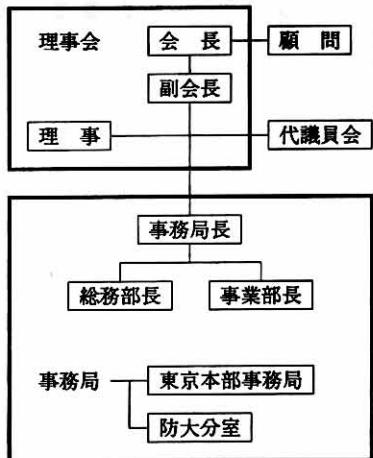
会費徴収の方法及び額の変更

寄付による増収

他の事業の削減や事務経費の切り詰め

財政問題解決のための方策

専門の調査分析を行うプロジェクトチームを新たに設置し要検討（答申では方策案の列举に止める）



## 五 その他

(一) 場所・施設  
ア 本部（理事会・事務局）の東京への移転

答申では将来活動の中心となる退職会員の活動拠点として便宜性を考慮し、できるだけ速やかに同窓会本部を現在の東京分室に移転することを提案している。

イ 事業推進委員会の新設

平成七年度中に事業推進委員会を設置し検討結果を実行に移す。

（二） 同窓会館  
当面同窓会館代替機能の保持に努め、爾後機能拡大か、会館設立かを再検討する旨答申

## 新委員会の設置について

（一） 共通事項  
指揮関係  
同窓会会长の直接指揮を受ける。

（二） 経費  
将来構想検討委員会の予算の残額について鋭意検討し、種々の有益な提案を答申した。

この提案を実行に移すためには、標記委員会を新設して実行案の策定及び所要の調整等を実施する必要がある。

同窓会全体として何をするかという観点で改善

ウ 機関

決議機関として期代表者と支部代表者による代議員会を設置  
必要に応じ、委員会の設置は会長及び理事会の権限とし、理事会の下に設置

## （五） 会則の見直し

### ア 本部、支部及び事務局

本部に理事会と事務局をおき、本部は東京都に置く。北海道、東北、東部、中部、西部及び沖縄に地域支部を設置する。なお現職会員は從来通り駐屯地基地単位とする。

イ 目的及び事業・活動

同窓会全体会として何をするかという観点で改善

ウ 機関

決議機関として期代表者と支部代表者による代

議員会を設置  
必要に応じ、委員会の設置は会長及び理事会の

権限とし、理事会の下に設置

（三） 規模  
○三一五七一一七〇〇九 内線四一八三）

## 平成 6 年度同窓会決算報告

防大同窓会会計幹事  
平成 7 年 11 月 11 日

| 項目  |              | 予 算        | 実 績        | 備 考           |
|-----|--------------|------------|------------|---------------|
| 収 入 | 会 費 (38期生)   |            | 14,539,876 | 38期生の約74%が加入※ |
|     | 貯金利息等        |            | 7,297,078  |               |
|     | その他          |            | 640,700    | 未納者の会費等       |
| 合 計 |              |            | 22,477,654 |               |
| 支 出 | 事業部          | 7,000,000  | 6,013,544  |               |
|     | 総務部          | 6,230,000  | 5,270,055  |               |
|     | 広報部          | 1,450,000  | 1,047,122  |               |
|     | 人事部          | 100,000    | 0          |               |
|     | 経理部          | 6,650,000  | 3,189,801  |               |
|     | 将来構想検討委員会活動費 | 1,000,000  | 972,191    |               |
|     | 小 計          | 22,430,000 | 16,492,713 |               |
|     | 財産目録へ        |            | 5,984,941  | 収入の27%に相当     |
| 合 計 |              |            | 22,477,654 |               |

※現在、未納分を鋭意徴収しています。

## 平成 6 年度予算使用実績

防大同窓会会計幹事  
平成 7 年 11 月 11 日

| 項目              |                     | 予 算        | 実 績        | 備 考 |
|-----------------|---------------------|------------|------------|-----|
| 事 業 部           | 総 会 費               | 2,800,000  | 3,012,195  |     |
|                 | 期 生 会 支 援 費         | 1,200,000  | 845,201    |     |
|                 | 校友会対外活動助成費          | 1,000,000  | 158,000    |     |
|                 | 開 校 祭 助 成 費         | 2,000,000  | 1,998,148  |     |
| 小 計             |                     | 7,000,000  | 6,013,544  |     |
| 総 務 部           | 顕 彰 碑 献 花 式 費       | 600,000    | 486,134    |     |
|                 | 顕 彰 室 整 備 支 援 費     | 300,000    | 15,599     |     |
|                 | 慶 弔 用 費             | 1,050,000  | 783,045    |     |
|                 | 職 員 定 年 退 職 者 記念品 費 | 100,000    | 146,795    |     |
|                 | 事 務 通 信 費           | 20,000     | 20,000     |     |
|                 | コ ピ 一 機 貨 貨 料       | 120,000    | 118,656    |     |
|                 | 電 話 ・ F A X 維 持 費   | 360,000    | 99,021     |     |
|                 | 東 京 事 務 所 運 営 費     | 3,180,000  | 3,180,441  |     |
| 評 議 委 員 会 運 営 費 |                     | 500,000    | 420,364    |     |
| 小 計             |                     | 6,230,000  | 5,270,055  |     |
| 広 報 部           | 機 関 紙 発 行 費         | 1,400,000  | 1,039,137  |     |
|                 | 事 務 通 信 費           | 50,000     | 7,985      |     |
|                 | 小 計                 | 1,450,000  | 1,047,122  |     |
| 人 事 部           | 事 務 通 信 費           | 100,000    | 0          |     |
|                 | 小 計                 | 100,000    | 0          |     |
| 経理部             | 会 長 運 営 費           | 650,000    | 265,500    |     |
|                 | 事 務 員 履 用 費         | 2,000,000  | 2,000,000  |     |
|                 | 事 務 通 信 費           | 300,000    | 126,587    |     |
|                 | 交 通 費               | 350,000    | 115,720    |     |
|                 | 会 予 議 備 費           | 150,000    | 48,620     |     |
|                 | 会 予 議 備 費           | 200,000    | 242,968    |     |
|                 | 会 予 議 備 費           | 3,000,000  | 390,406    |     |
|                 | 小 計                 | 6,650,000  | 3,189,801  |     |
| 将来構想関連          | 将来構想検討委員会活動費        | 1,000,000  | 972,191    |     |
|                 | 小 計                 | 1,000,000  | 972,191    |     |
| 合 計             |                     | 22,430,000 | 16,492,713 |     |

人は空に夢を見る。

 三菱重工業株式会社

航空機・特車事業本部

東京都千代田区丸の内2-5-1 〒100 東京(03)3212-3111

## 平成 8 年度同窓会予算

防大同窓会経理部  
平成 7 年 11 月 11 日

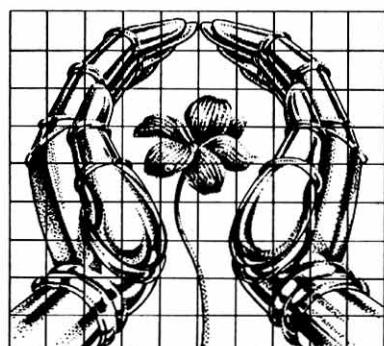
| 項目    |            | 金額         | 備考                                    |
|-------|------------|------------|---------------------------------------|
| 収 入   | 会 費 (40期生) | 20,701,000 | 58,150×356 (総員の90%) 現在の 3 導入号俸の 1 / 4 |
|       | 貯金利息       | 2,452,650  |                                       |
|       | 広告代        | 未 定        |                                       |
| 合 計   |            | 23,154,050 |                                       |
| 支 出   | 事業部        | 6,990,000  |                                       |
|       | 総務部        | 4,100,000  |                                       |
|       | 広報部        | 4,026,000  |                                       |
|       | 人事部        | 0          |                                       |
|       | 経理部        | 4,750,000  |                                       |
|       | 新委員会の活動費   | 1,000,000  |                                       |
| 小 計   |            | 20,866,000 |                                       |
| 財産目録へ |            | 2,288,050  | 収入の 10% に相当                           |
| 合 計   |            | 23,154,050 |                                       |

## 平成 8 年度予算支出計画

防大同窓会経理部  
平成 7 年 11 月 11 日

| 担当部                 | 科 目          | 予 算       | 7 年度比      | 摘 要                       |
|---------------------|--------------|-----------|------------|---------------------------|
| 事 業 部               | 総 会 費        | 3,490,000 | + 80,000   | 会員の増加及びはがきでの送付並びにダイレクトメール |
|                     | 期 生 会 支 援 費  | 700,000   |            |                           |
|                     | 校友会对外活動助成費   | 800,000   | -200,000   | 6 年度実績を反映                 |
| 総 務 部               | 開 校 祭 助 成 費  | 2,000,000 |            |                           |
|                     | 小 計          | 6,990,000 | -120,000   |                           |
|                     | 顕彰碑献花式費用     | 600,000   |            |                           |
| 総 務 部               | 慶弔用費用        | 1,050,000 |            |                           |
|                     | 職員定年退職者記念品費用 | 100,000   |            |                           |
|                     | 事務通信信費用      | 20,000    |            |                           |
|                     | コピー一機賃貸料     | 120,000   |            |                           |
|                     | 電話・FAX維持費用   | 150,000   | -210,000   | 6 年度実績を反映                 |
|                     | 東京事務所運営費用    | 1,560,000 |            |                           |
| 広 報 部               | 評議委員会運営費用    | 500,000   |            |                           |
|                     | 小 計          | 4,100,000 | -210,000   |                           |
|                     | 機関紙発行費用      | 3,976,000 |            |                           |
| 人 事 部               | 事務通信信費用      | 50,000    |            |                           |
|                     | 小 計          | 4,026,000 |            |                           |
|                     | 事務通信信費用      | 0         |            |                           |
| 経 理 部               | 小 計          | 0         |            |                           |
|                     | 会長運営費用       | 500,000   |            |                           |
|                     | 事務員雇用費用      | 2,000,000 |            |                           |
|                     | 事務通話費用       | 200,000   | -100,000   | 6 年度実績を反映                 |
|                     | 通信会員費用       | 200,000   | -150,000   | "                         |
|                     | 会議費用         | 100,000   | -50,000    | "                         |
| 将 来 構 想 新 委 員 会 関 連 | 予備費用         | 250,000   | + 50,000   | "                         |
|                     | 小 計          | 1,500,000 | -500,000   | "                         |
|                     | 小 計          | 4,750,000 | -750,000   |                           |
| 合 計                 | 将来構想検討委員会活動費 | 0         | -1,000,000 |                           |
|                     | 新委員会活動費      | 1,000,000 | +1,000,000 | 総会報告を参照                   |
|                     | 小 計          | 1,000,000 | 0          |                           |

いま、技術は  
知性をもった。



つねにゆとりある社会づくり。それが急速に発展するテクノロジー時代に川崎重工がかかげるテーマです。人間が真に人間らしく、豊かに生きるために、技術の発展はあるはずです。めざましい技術革新の世紀をリードしてきた、「技術の企業」川崎重工は、技術を人間のためのものとして高めるために、つねに努力をつづけています。

 川崎重工  
本社・神戸/東京

# 特集 「防大は今」

## 学生の海外派遣実績

| 派遣先             | 年 度 | 46<br>50 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-----------------|-----|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
|                 |     | 51       | 52 | 53 | 54 | 55 | 56 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 元  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 米国3軍士官学校        | 陸   | 2        | 3  | 1  | 2  | 2  | 1  | 2  | 1  | 1  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  |    |
|                 | 海   | 1        | 1  | 2  | 1  | 2  | 1  | 1  | 2  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 2  | 3  |    |
|                 | 空   | 1        | 2  | 1  | 2  | 2  | 2  | 1  | 1  | 2  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 2  | 3  |    |
|                 | 小計  | 4        | 6  | 4  | 5  | 6  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 6  | 8  |    |
| カナダ統合軍士官学校      |     |          |    |    |    | 6  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 4  | 6  | 8  |    |
| フランス陸軍士官学校      |     |          |    | 2  | 2  |    | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  |    |
| 韓国陸海空軍士官学校      |     |          |    |    |    |    |    |    | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  |    |
| タイ、シンガポール士官学校   |     |          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  | 3  |    |
| 独国防大学及び陸海空軍士官学校 |     |          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 3  | 3  | 3  |    |
| 連合王国陸海空軍士官学校    |     |          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 3  |    |
| 国際情勢会議(米海軍士官学校) |     |          |    |    |    |    |    |    | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  |    |
| 合 計             |     | 4        | 6  | 6  | 7  | 6  | 6  | 6  | 6  | 11 | 11 | 11 | 11 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 17 | 19 | 21 |
|                 |     |          |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 25 |    |

本科学生の外国士官学校への短期留学は、昭和四十五年五月猪木防衛大校長が欧米視察の際に、学生の国際的視野の拡充及び勉学意欲の向上を目的として同年十月に吉田国際基金の支援を受けアメリカ合衆国3軍士官学校訪問が開始された。派遣される学生は将来、幹部自衛官として職務遂行に関する意志が強固であり成績優秀、加えて体力強健の者である。当初は第四学年が派遣されていた。しかし教育効果の面から五十四年度以降は第三学年が派遣されている。昭和四十八年度からはアメリカ合衆国三軍士官学校への留学が予算化され、昭和五十二年度にはフランス共和国陸軍士官学校へ(昭和五十四年度は中止)、昭和五十四年度にはカナダ統合軍士官学校へ、昭和五十八年度には大韓民国士官学校へ、昭和六十二年度にはタイ・シンガポール士官学校へ、平成四年度にはドイツ国防大学及三軍士官学校へ、そして平成七年度からは英國軍士官学校へと短期留学が実施され七年度の短期留学生の合計は二十五人となつていい。各学生は短期留学期間中の貴重な体験から様々な所感を持っている。今回、平成七年度の海外派遣学生4名の留学所感を述べてもらつた。

### ドイツ連邦共和国派遣所感



第三二一小隊 陸上要員  
第三学年 松原 泰孝

### ドライビングスクール

十月十五日から十一月五日までの約3週間、私は、入校当時からの憧れであつた海外派遣学生としてドイツ連邦共和国に滞在することができた。海外へ行くのは2度目だが、ヨーロッパに行くのは初めてであり、とにかくすべてが新鮮で、驚きで、感動だつた。そんな3週間の旅を簡単に述べてみよう。最初は教育効果の面から五十四年度以降は第三学年が派遣されている。昭和四十八年度からはアメリカ合衆国三軍士官学校への留学が予算化され、昭和五十二年度にはフランス共和国陸軍士官学校へ(昭和五十四年度は中止)、昭和五十四年度にはカナダ統合軍士官学校へ、昭和五十八年度には大韓民国士官学校へ、昭和六十二年度にはタイ・シンガポール士官学校へ、平成四年度にはドイツ国防大学及三軍士官学校へ、そして平成七年度からは英國軍士官学校へと短期留学が実施され七年度の短期留学生の合計は二十五人となつていい。各学生は短期留学期間中の貴重な体験から様々な所感を持っている。今回、平成七年度の海外派遣学生4名の留学所感を述べてもらつた。

1、握手について  
ドイツ人の握手はすごい。誰もががっちりと握ってくるのではじめはかなり戸惑つた(少し痛い)。しかも、特に海軍では「おはよう」と挨拶するときも、「また明日」と別れるときも、とにかくいつも握手をするのだ。そのおかげで、はじめは戸惑っていた握手にも最後には、握り返してみたり、逆にこちらから求めるようになつていた。

2、責任と義務の徹底  
すべての士官学校にいえることだが、学生のほとんどが車を持っていて、1日の自分の義務が終わるとすぐにその車で外出してしまう。また、週末には

(金曜日の午後から)ほとんどの学生が実家に戻っているそうである。私がドイツの士官候補生に、車を持つていることをうらやましいと、逆に、なぜ日本では車をもてないのかと不思議がついていた。

先にも述べたが、外出に関しては私たちと大きく異なる点であり、自分の義務さえ終了すればいつでも外出でき、翌日のクラスが始まる前に戻れば何の問題もないのだ。それができて問題がないのは、誰もが階級を持っていることや、さらに言うと勉強をしないと簡単に合格できないほど厳しい試験があるため自分から求めていかないと脱落してしまうのである。また、「オフィサーになるんだ」という強い意志を持つている事も理由の一つであろう。特に陸軍の学生は、外出もあまりせず、ほとんど自分の勉強に時間を使っているようである。

### 3、困ったこと

一番困ったのはやはり語学である。相手の言っていることはだいたい理解できるのだが、何しろ英語が話せない。言いたいことは山ほどあるのに、いざ話してみると、本当に伝えたかったことの半分も伝わらず悔しい思いをした。特に、別れなければならないときに、彼らは、私たちの旅の無事と、成功を祈っていると言つてくれるのだが、私たちは、ただ Thank you very much. を連発するだけで、今まで世話をになつたお礼を言いたくても、何一ついえなかつた。とにかくそれが悔しかつた。

#### 4、終わりに

私がドイツで体験してきたことは、まだまだたくさんあるが、それらのすべてが、言い表せないほど素晴らしいものばかりだった。そのうえ、ドイツにたくさんの友人を作ることができたことは、私にとって最高の成果であつたと思う。最後になりましたが、このような機会を与えてくださった関係各位の方々に対し心から感謝し海外派遣の感想とします。

#### 英國派遣所感



第三二三小隊 海上要員  
第三学年 浦沢 権之

現在、防衛大学校(以下防大と略す)には米国をはじめ、八カ国の士官学校への短期留学制度があり、主として三

学年の秋季に各国一、三名が派遣される。私はこの度、連合王国派遣学生として十月二十二日から十一月十二日まで、陸上要員及び海上要員の学生それぞれ一名とともに英國陸海空軍士官学校で、一週間ずつ研修を行つた。

防大から英國への派遣学生は今回が初めてのことであり、英國駐在武官の嶋田一佐をはじめ多くの方々に格段のご尽力を戴いた。我々はもちろんのこと、英國の士官候補生達の我々に対する関心も高く、お互いにとつて大変有意義で、また、非常に楽しい留学であった。とにかくそれが悔しかつた。

学校の体制については、陸海空いずれの士官学校も原則的に一般の大学を卒業した後に入学するため、日本で言えば防大よりも幹部候補生学校に近く、学生の期間も陸海軍は約一年、空軍は約半年という短いものである。その点からも彼らと我々防大生を単純に比較することはできないが、同じ士官候補生として考えさせられることは多くあつた。

一番に痛感したことは学生の士気についてである。英國の学生全てが完璧で優秀とは思わないが、訓練等に対する積極性という面で我々防大生よりも優れていると感じた。最もこの要因としては、単に学生の資質の違いではなく、学生の期間の違いや授業のプログラムの違いなども考えられる。しかし、我々防大生が「ゆとりある教育」の名のもとで怠惰に支配されているのも否定できない、と改めて感じた。



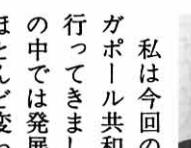
第四一三小隊 海上要員  
第三学年 松浦 知寛

私は今回の短期留学でタイ及びシンガポール共和国の二カ国の士官学校に行つてきました。両国とも東南アジアの中では発展している国なので日本とほとんど変わりなく有意義な留学となりました。日常会話は全て英語のため、毎日が非常に疲れましたが、拙い英語でも話そうという意欲があれば通じるものだと強く感じました。言葉については、自分の領域で話す分には全く問題なく生活できたのですが、物事についての説明の時は、多少専門的な用語が増えるためうまく伝わらなかつたことが非常に残念でした。

次に両国について述べたいのですが、特に、印象に残つたタイ王國士官学校の心の持ちようについて考えたいと思います。タイ王國は、日本と非常に似ていて王室があります。そのため日本とのつながりが非常に強く、各士官学校の学生も日本のことをよく知つて

私にとっては初めての海外であり戸惑いながらも多くの方々のご助力により無事に今回の短期留学を終えることができた。今回の貴重な経験をなるべく多くの学生に伝えるとともに今後の防大や海上自衛隊での生活において有効に活用していきたい。

#### タイ・シンガポール派遣所感



第四一三小隊 海上要員  
第三学年 松浦 知寛

います。ここで、タイ全体の事を思い出します。ここに、貧富の差がとても激しい国でした。このことについて学生と話し合ってみると、彼らは、それが今一番大切な問題だと認識していました。そこで驚いたのですが、その後に彼らは私に「どうしたらこの問題が解決されると思うか」と聞いてきたのです。ここが我々と違うところだと思います。

タイでは軍人のステータスが高く、国を守るのも将来の國を支えるのも軍人だという考え方があります。そのため國の現状をよく考え、それをよくするにはどうすればよいのかといふ事まで考え、チャンスがあれば外国から様々なものを取り入れたいと考えています。我々はどうでしょう。日本は世界的に言つても発展した國です。だからと言って現状に甘えていいのでしょうか。日本の軍人のステータスが低いからと言つて、防大にいる間遊んでいていいのでしょうか。将来私達は、彼らと国際的には同じ土俵に立たなければなりません。我々は防大での四年間を無駄に過ごしてはいけないのです。今までは、諸外国の士官候補生とは対等に話せないので強く感じます。防大の学生全員が遊んでいるわけではありませんが、タイ王国の学生と比べると、負けているのではなく感覚です。このことに関しては学校のシステムが違うので、タイ王国の学生と同じ考え方を変えることはできません。しかし、将来、同じ様な立場になるのですから、頭の片隅にでも置

いて下さい。機会があればほんの少しだけでも考えてもらいたいのです。私は、このことに関する以上に努力し、他の防大の学生に刺激を与え得る学生になれれば良いと思います。

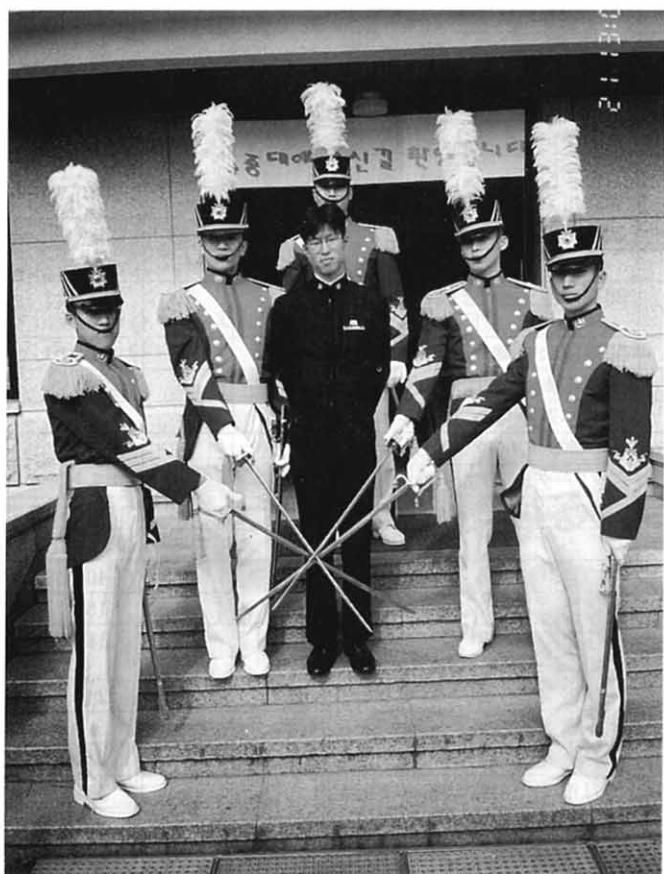
今回の短期留学で様々なことを学びました。例えば、両国の国民性や歴史、生活などです。しかし、一番印象に残っている事は、両国の士官候補生に共通して言える事ですが、自分達は軍人で、國を守り國を良い方向に変えるんだと考へている学生が多いという事です。まだまだ発展する余地があるとして外國から様々な事を学ぼうとし、良いと思ふ事はすぐに取り入れ、皆それぞれが國を愛し國のために勉強しています。このことは、先にも書いたとおり学校や国のシステムが違うせいもありますが、見習うべき事だと私は思います。

私は、今回の短期留学で得たことを忘れずに今まで以上に真剣に物事に取り組み、日本のため学校のために頑張つて行こうと思います。



大韓民国派遣所感

第四三三小隊 陸上要員  
第三学年 山田 浩一



渡航前から韓国と日本は「最も近くで最も遠い国」という言葉を聞いていましたが、確かに「Xジェネレーション」という流行語があるように、若者の日本に対する感情は変化してきているのも事実です。これから日韓関係を築いてゆくのは我々若者なのですから、今回のように彼らと本音でぶつかりあえたことは貴重な体験になりました。

ところで、この韓国派遣で私が得た最大のものは、なんといっても「友人」でしょう。毎日夜遅くまで、堅い話は抜きにしてお互いのことを話していると、なんと共鳴できた士官候補生としての悩み、苦しみ、そして喜びが多いことか！お互いたどたどしい英語ながらも、理解しようと苦心したことは忘

れられません。こうして得た異国の方々は、私にとっての一生の宝物となることでしょう。

将来、ますます日韓の軍事交流が盛んになることは確実です。来年から海軍士官学校の四年生が遠洋航海に日本に来る予定だと聞きました。過去に暗い歴史があるのは認めねばなりません。しかし、彼らを通してそのギャップを乗り越え、小さくともいいから両国の架け橋になることが、次の私の夢です。

最後になりましたが、今回の派遣のためにご尽力いただいた関係者の方々と、苦楽を共にした金澤・木下両学生に感謝の意を表して、私の所感を終わらせていただきます。

## 平成7年度運動系校友会主要活動結果及び現在部員数

| 校友会名           | 全日本クラス                            | 関東クラス                                | 昨年比    | 部員数(女子) |
|----------------|-----------------------------------|--------------------------------------|--------|---------|
| 短艇委員会          | 全日本カッター競技会2位/12校                  | 関東新人戦2位                              | ↑      | 71      |
| バスケットボール部      |                                   | 関東リーグ7位/16校6部                        | →      | 42(6)   |
| 柔道部            |                                   | 関東学生優勝大会2部優勝                         | →      | 30      |
| ラグビー部          |                                   | 関東大学ラグビー2部昇格(7戦6勝1負)<br>関東7人制大会1位    | ↑      | 134(1)  |
| サッカー部          |                                   | 神奈川県秋季リーグ5戦5勝                        | ↑      | 59(1)   |
| 剣道部            | 全日本学生優勝大会団体1回戦負                   | 関東学生優勝大会ベスト16                        | ↑      | 47(4)   |
| 空手道部           | 全国国公立空手道大会男子優勝<br>〃 女子準優勝         | 秋季関東定期リーグ1部昇格                        | ↑      | 62<br>3 |
| バレーボール部(男子)    |                                   | 秋季関東大会リーグ4位/8校7部                     | ↓      | 34      |
| 〃(女子)          |                                   | 〃 7位/12校13部                          | →      | 11      |
| 卓球部            |                                   | 関東リーグ5部残留                            |        | 24(2)   |
| 陸上競技部          | 静岡国際陸上競技会個人800m13位                | 関東理工系学生大会3位/30校<br>関東学生陸上競技会個人400m1位 |        | 51(1)   |
| 硬式庭球部          |                                   | 関東理工科リーグ男子8部<br>〃 女子10部昇格            | →<br>↑ | 51(13)  |
| 硬式野球部          |                                   | 神奈川大学リーグ1部6位                         | ↓      | 35      |
| 射撃部            | 全日本大会個人3位、6位                      | 秋季関東学生選手権予選通過17名                     | →      | 21(2)   |
| 水泳部            |                                   | 東部地区国公立水泳競技会400m1位、<br>400m個人メドレー3位  | →      | 41(2)   |
| ハンドボール部        |                                   | 関東学生秋季リーグ3位/8校6部                     | ↑      | 33      |
| アメリカンフットボール部   |                                   | H6 2部降格                              | ↓      | 88(1)   |
| ヨット部(小型)       |                                   | 関東学生選手権予選敗退                          | →      | 32(1)   |
| ヨット部(クルーザー)    | 全日本学生外洋帆走レース11位、14位               |                                      | →      | 15      |
| 銃剣道部           | 全日本銃剣道優勝大会2位                      | 全関東大学選手権新人戦団体優勝                      | ↑      | 44      |
| ソフトテニス部        |                                   | 関東リーグ(女子12部)1位<br>男子10部、女子11部昇格      | ↓<br>↑ | 40(3)   |
| ボクシング部         |                                   | 関東トーナメント(4部)1位                       | ↑      | 30(1)   |
| レスリング部         |                                   | 東日本春季新人戦68kg級2位                      | →      | 29      |
| ポート部           | 全日本新人選手権大会予選6位/6校                 |                                      | →      | 19(1)   |
| フィールドホッケー部(男子) |                                   | 関東学生リーグ6位/11校2部<br>神奈川リーグ優勝          | →      | 35      |
| 〃(女子)          | 落下傘スポーツ日本選手権1位、2位                 | 関東学生リーグ1部昇格                          | ↑      |         |
| バラシュー部         |                                   |                                      | →      | 27(1)   |
| 準硬式野球部         |                                   | 神奈川六大学秋季リーグ4位/6校                     | →      | 51      |
| 弓道部(男子)        |                                   | 秋季南関東リーグ3戦2勝1敗                       | →      | 32      |
| 〃(女子)          |                                   | 〃 4戦3勝1敗                             | ↑      | 9       |
| 少林寺拳法部         | 全日本学生大会団体演武最優秀賞<br>その他優秀賞、優良賞、敢闘賞 | 関東学生大会(2段の部)1位<br>(団体演武)2位           | →      | 54(1)   |
| フェンシング部        |                                   | 関東国公立個人戦エペ3回戦敗退                      | →      | 21(1)   |
| ウェイトリフティング部    |                                   | 神奈川県選手権団体2位個人76kg級1位                 | →      | 19      |
| 相撲部            | 全国国公立大学対抗選手権2位                    | 東日本選手権(Cリーグ)3位                       | →      | 20      |
| バトミントン部(男子)    |                                   | 秋季神奈川リーグ個人BLD2位、MIX2位                | ↑      | 26      |
| 〃(女子)          |                                   | 関東リーグ5部昇格、全女子ダブルス準優勝                 | ↑      | 7       |
| 体操部            |                                   | 関東理工系大学選手権個人13位                      | →      | 11(1)   |
| 自動車部           | JMRCフレッシュマンラリー17位/33台             |                                      |        | 15      |
| グライダー部         | 久住山岳滑翔大会1位                        |                                      | ↑      | 40(3)   |
| 応援団リーダー部       |                                   |                                      |        | 15      |
| 山岳部            |                                   | 冬季五竜岳登攀<br>日本山岳会学生対抗マラソン大会4位/17校     |        | 11(2)   |
| ワンダーフォーゲル部     |                                   | 冬季妙高高原池ノ平スキー場合宿                      |        | 24      |
| 合気道部           |                                   | 関東学生連盟大会出場                           |        | 51(5)   |
| 居合道部           | 全日本段別競技大会個人三段の部3位                 |                                      |        | 31(4)   |
| 吹奏楽部           |                                   | 12月市文化会館定期演奏会実施                      |        | 40(5)   |
| 儀仗隊            |                                   | 自衛隊音楽祭参加                             |        | 59(7)   |

\*部員数はH7年7月現在 \*女子は内数 \*成果のうち○○部とはその部に残留を示す

# 期生会だより

## 第三期生の現況

堂 建二

第三期生は、本年で防大入校以来四十周年を迎へ、去る十月吉日、長年劳苦を頒かち合つた御夫人方と共に、道半ばにして逝つた友を偲びつつ、幸いにも「無事」「健康」で、この長くて短短した道を走破できることに素直に感謝して祝杯を上げ、そしてまだまだ遠い残る道のりのお互いのグッドラックを祈つて再び杯を上げました。

実は我が三期生会は、ある時期から「陸海空」が各個別々に活動しております。しかしながら、定年を迎へ背広に着替えて社会に出てみると、同じ会社、同じ職域、はたまた同じ電車、同じ町内に「陸海空」の同期生そして先輩・後輩を見付け、考え方も変わつて参りました。

時あたかも同期の統幕議長が誕生する象徴的出来事もあり、澎湃として起ころうの声と共に、平成五年秋、復活第一回の「陸海空」合同の大パーティを開催することができました。

小原台以来の友もあり、最初は名札と顔を何度も照らし合わせるような場面もあちこちで見られましたが、それもほんの束の間、話は来し方・行く末、

縦横無尽、最後は学生歌齊唱で大同団結のメデタシ・メデタシ。早速、一年後四十周年記念、担当は「海上」と決定、

今回の第二回のパーティーに至りました。とは申せ、陸二五〇、海九十、空二〇、計四六〇十御遺族、約五〇〇名に近い同期の連携をこれから緊密に保つことは、なかなか大変な仕事です。

現在は、一応「陸海空」でそれぞれの同期生会を維持・活動しており、その中で役員が定期・不定期に相互に連携を取り合い、全体の連携を保つています。

次の第三回の合同パーティーは、五年後四十五周年記念、「空」担当と決まっておりますが、北海道から九州までの各地区でも合同の活動が段々と活発化してきており、そろそろ第二の定年を迎える時期にもあたり暇だけはある熟年、各地区・支部主催の「温泉パーティー」「ゴルフ大会」に全国から参加というのも夢ではないでしょう。

「陸海空」でそれぞれ団結を保ちながら、各地区・各支部では身近な交際として合同で活発に活動し、そして組織

としては役員が中央で緊密に連絡を取り合う。そして数年に一度は合同の大パーティを実施する。これが現実の同期生会活動ではないかと思つています。

そして、このような活動を通じて同窓会将来構想検討委員会の提案される同窓会の横糸としての期生会の強化をいたしたいと考えております。  
いずれにしても、いつでも裸でつき合える同期生会を大切にしたいものだと思つています。

## 四期生会便り

内田 十允

四期生は防大卒業以来三十五年を迎え、陸・海幕僚長を勤めた富沢・林崎両君もすでにこの夏までに退官し、航空幕僚長の杉山君を除く全員が制服を脱ぎました。

この間、誠に残念ながら陸・海・空各一名の殉職者を含み、二十九名が物故致しております。

また四期生の現住地は概略、その三分の二が関東地方（一都六県）、四分の一が関東以西、残りの役一割が関東以北となっています。

四期生会は会則に基づき、陸海空のバランスをとった十二名の本部役員が、二年を基準として適宜交替しながら、各地区・各支部では身近な交際として合同で活発に活動し、そして組織としては役員が中央で緊密に連絡を取り合う。そして数年に一度は合同の大パーティを実施する。これが現実の同期生会活動ではないかと思つています。

**OKI**  
People to People  
Technology



Synphony  
あなたの感性に響き合う。

マルチメディアのキーカンパニー 沖電気

沖電気工業株式会社

防衛省本部 〒108 東京都港区芝浦4-10-3(本社別館) ☎(03)5445-6085(直通)

名簿を記載し、少なくとも十一月末までには全国の会員に届くよう手配しています。

これ等本部で行う行事のほか、地域ごとにあるいは陸海空毎に色々と活動を続けております。例えば、関東地域では陸海空有志が、年間数回にわたり「防衛装備研究セミナー」を行な情報交換をしていますし、空は更に「航空四期生会」を組織し運営するとともに、夫人を混えての有志ゴルフ定例コンペや海外ツアーや実施したり、海は一般大出身者を含めた海幹候校十一期生会（土風期会）に包含された四期生会の活動を活発に行っております。

来年度の四期生会総会・懇親会は平成八年二月十七日㈯一五・〇〇から明治記念館で行う予定ですが、本年度も例年通り夫人を含めて一六〇名の一七〇名の参加が見込まれます。懇親会の最後に参加者全員が大きな輪をつくり、防大学生歌、逍遙歌に引き続き四期生歌を合唱して幕を閉じるのを例としていますが、学生時代に思いを馳せ年に一度蛮声を張り上げて四期生歌を無心に唱う時ほど同期生の絆をひしひしと実感する時はありません。

## 六期生会

川崎  
圭一

六期生会としては、卒業三十周年を一つの区切りとして会則を整備し、毎

年六月六日午後六時から曜日に関係なく原則としてグランドヒル市ヶ谷で総会を開催することにしておりました。

本年度末には、陸・海・空とともに数名の将官を除き殆ど者が退官するが、昨年度役員の努力によつて七年六月六日付けて会員名簿を整備し、総会参加者約一三〇名に手渡すと共に後刻全国の会員に郵送配布した。

各期とも共通の問題だと思うが、期生会名簿の維持が最も頭の痛い所である。

特に陸上は員数も多く、定年前に退職した会員等で住所が把握できていない者もあるが、新たに名簿担当役員を定めて何とか完璧なものとすべく努力しているところである。

退官後の再就職先は圧倒的に東京近辺が多く、また定住地としては東京、神奈川、千葉、埼玉茨城に約六十五%が集中している。緊急時の連絡に備えて自宅の電話連絡網も整備したが、勤務先と現住所が遠く離れている者が多くどちらで対処すべきか今後の課題である。

現在市ヶ谷会館の近くに勤務している有志で毎月六日に昼食会を実施しているが、毎回十五名程度が集まっています。昼休みの一時間を有効に活用して情報交換の場としているので参加可能な会員は、休日でない六日の十一時三十分までに市ヶ谷会館本館三階のOB

退官後も元気に会社つとめをしている間は、何かと交流の機会もありますが、第二の人生も定年を迎えることになりますます疎遠になります。何時迄も同期の絆を大切にしていきたいと思いますので、期生会に関する注文は、遠慮なく各役員に申しつけて下さい。

会の発展に、皆さんのご協力をお願ひします。

## 七期生会

山本  
安正

七期生会は「北斗会」と称しております。卒業後、まもなく三十三年になります。卒業後、まもなく三十三年になりますが、五〇四名の卒業者のうち現役は一〇九名（平成七年十月現在）と

八月以来、全国を北海道、東北、関東、首都圏（東京、神奈川、千葉、埼玉）、中部、近畿・中国・四国、九州の七つの地域に区分し、それぞれに支部を置き、期生会の活動は本部とこれらの支部とで行うことになりました。期生会の総会は、毎年、七月七日に最も近い土曜日に首都圏で行うのを例としております。恩師や夫人方も交え、毎回盛会のうちに再会を楽しんでおります。

官官、官民、民民の情報交換も盛んのようです。

先般、卒業三十周年を記念して会誌

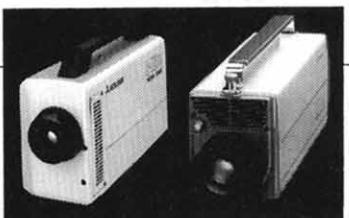
**MITSUBISHI**  
SOCO-TECHの三菱電機

## 高感度・高解像度画質で夜間監視・セキュリティに活躍。

標準タイプ  
IR-M300

2次元センサを搭載しながら、経済性も追求した標準タイプ。

- 6万6千(256×256)画素
- フィールドタイム1/60秒
- 雑音等価温度差0.2°C



遠距離用高解像度タイプ  
IR-M500

世界最高水準の解像度を持つ2次元センサ、夜間の遠距離・広域にわたるハイグレードなセキュリティを実現。

- 26万(512×512)画素
- フィールドタイム1/60秒
- 雑音等価温度差15°C

三菱サーマルイメージヤ IR-M300/M500

お問い合わせは…本社電子機器部 〒100 東京都千代田区丸の内 2-2-3(三菱電機ビル) ☎(03)3218-3370

三菱電機株式会社

「北斗」を発刊いたしました。会員一人一人の短い所感と家族を含めた近況写真とを集めた物ですが、朝に勇智を磨き、夕に平和を祈る、礎ここに築かんと学び、汗を流し、真摯に義務を果たしてきた戦士が、無事役割を終え、安堵の気持ちをもつて盾と矛を収める心境と次の人生へのチャレンジの意欲、自分自身の周辺に目を配ることができるようになった心のゆとり等々が日々と綴られております。

まったく手前味噌になりますが、素晴らしい同期生会であると誇りに思っております。残念なことに、十八名の同期生が逝去されていることがあります。

先に申し上げましたとおり、七期生

会は一応将来に対応できる体制を整えましたので、今後は「継続は力なり」で本部、支部を中心に会員の親和を深めるイベントを途切らすことのないようになります。うに寄与していくことを考えております。

## 二十期生会

会長 佐藤 貞夫

「防大二十期生卒業二十周年記念行事開催について」

### 一、目的

二十期生卒業二十周年にあたり同期生の旧交をあたためるとともに、元学校長をはじめとする恩師の方々

との懇親を行い、期生会員の親睦を図る。

### 二、日 時

平成八年一月十四日(日)

一三・〇〇～一六・〇〇

### 三、場 所

グランドヒル市ヶ谷

### 四、行事内容

#### (1) 期生会総会

一三・〇〇～一三・三〇

#### (2) 記念パーティー

一三・三〇～一六・〇〇

### 五、その他

細部についての問い合わせは二十期生会二十周年記念行事実行委員会までお願いいたします。

\*陸幕人事部 群塚一佐

(八一三三一一四六八)

会 長 松澤 煉  
(東方總監部防衛部)  
副会長 市田信行  
(防衛研究所)

八一七八一三六六  
(陸幕会計課)

会 計

藤枝茂樹  
(陸幕会計課)  
監査 宮崎義紀  
(東方会計課)

八一三三一一四三一

会長 松澤 煉  
(東方会計課)

監査 宮崎義紀  
(東方会計課)

八一七八一三二一七  
二十周年記念行事準備委員会

八一七八一三二一七  
二十周年記念行事準備委員会

八一七八一三二一七  
二十周年記念行事準備委員会

八一七八一三二一七  
二十周年記念行事準備委員会

目的で、二十周年記念行事を実施する発案があり、有志の尽力でこの事業の準備が着々と進められていることは諸兄ご承知のとおりですが、せっかくの機会ですので、二十周年記念行事準備委員会について紹介させて頂きます。

平成九年、同期生の御夫妻に東京グランドヒル市ヶ谷の大広間に集まり頂き、懇親の宴を楽しみたいと思います。その時に、役員及び事務局の在り方、会則の改定、名簿の作成、連絡網の整備等を行い、期生会活動をより充実したものにしたいと思いますので、同期生に関する情報を、どんな些細なことでも結構ですから、役員にお知らせ下さい。連絡先は、次のとおりです。

同期生に關する情報を行い、期生会活動をより充実したものにしたいと思いまして、役員にお知らせ下さい。連絡先は、次のとおりです。  
会長 松澤 煉  
(東方總監部防衛部)  
副会長 市田信行  
(防衛研究所)  
会計 藤枝茂樹  
(陸幕会計課)  
監査 宮崎義紀  
(東方会計課)

いいコミュニケーションが  
この星を変えてゆく。

**NEC**



C&C for Human Potential

空代表 行本雄司(空幕人事計画課)

八一三三一三〇四三

なお、同記念行事のための会合等については六本木勤務者を主体に陸海空(退職者を含む)で密接な連携を図りつつ、逐次準備しているところです。諸兄のご理解ご協力を願いします。

最後に、同期生ご家族のご健勝ご多幸、益々のご発展を祈念申し上げ紹介と致します。

### 二十三期生会便り

会長 岩本 豊一

二十三期生の皆さん、お元気ですか? 我々の同期生では、交通事故で楠永君、病気で鍵元君が亡くなりました。多くの皆さんは、佐官の充実した毎日を過ごされているのではないでしょうか。

さて、二十三期生会「樂の会」は、未だ眠っているのが現状です。防大卒業後全国に飛び散り、今やや中央に集まりつつあるといったところでしょうか。

組織自体は、卒業時の総会で今後の行方は会長一任ということで閉会したものですから、現在の状況は次のとおりです。

会長は、いろいろな意見がありましたが、「お前はうちの期の顔だから続けろ」という激励を受け、岩本が引き続きやらせてもらっています。しかし、

ミニマムの活動はできるよう中央勤務者で「樂の会」幹事兼同窓会評議員を一名、会計幹事一名を御願いして担当して頂いております。  
現幹事は、陸の時津君、会計幹事は、海の藤井君です。現在、同期本人の弔事、同期関連の被災支援(地震、火事等)、中央で開かれる三幕統合の同期生会会場の援助を行っております。今後の課題は、異動に伴う役員の継承、当面の名簿作成、長期的総会の開催です。名簿は、陸は職種毎、及び海空の要員毎に掌握作成できればと思つております。時津君ともいろいろ相談し予定を立てたりしたのですが、目の前の業務に追われ、なかなか前進しないのが実状です。

同期の皆さんには申し訳ないと思つておりますが、「やりたい」「やろう」「やらないかな」と言う気持ちは保持しておりますので、どうか待つていて下さい。それから、一部の方には関連の調査をお願いするかもしませんが、その時は喜んでお引き受けご協力下さい。

最後に、防大同窓会には、全体名簿作成、同窓会便り、期生会活動への援助など大変お世話いただいております。この場をおかりして、深謝申し上げます。

今後ともよろしくお願ひいたします。

ミニマムの活動はできるよう中央勤務者で「樂の会」幹事兼同窓会評議員を一名、会計幹事一名を御願いして担当して頂いております。

現幹事は、陸の時津君、会計幹事は、海の藤井君です。現在、同期本人の弔事、同期関連の被災支援(地震、火事等)、中央で開かれる三幕統合の同期生会会場の援助を行っております。今後の課題は、異動に伴う役員の継承、当面の名簿作成、長期的総会の開催です。名簿は、陸は職種毎、及び海空の要員毎に掌握作成できればと思つております。時津君ともいろいろ相談し予定を立てたりしたのですが、目の前の業務に追われ、なかなか前進しないのが実状です。

同期の皆さんには申し訳ないと思つておりますが、「やりたい」「やろう」「やらないかな」と言う気持ちは保持しておりますので、どうか待つていて下さい。それから、一部の方には関連の調査をお願いするかもしませんが、その時は喜んでお引き受けご協力下さい。

最後に、防大同窓会には、全体名簿作成、同窓会便り、期生会活動への援

### 二十五期生会の皆様へ

会長 高鹿 治雄

二十五期生会会員の皆様お元気ですか。若い若いと思っていた我々も、い

つの間にか、四十代がもうすぐ目の前になってしましました。部隊においては、各級指揮官や司令部等の幕僚として、または会社のリーダー格として、

ますます重責を果たさなければならぬ立場になりつあるのではないでしょ

うか。一方、家庭においては、良き夫として、良き父親として家庭の幸せを築き守らなければならぬ大変な時

期になってしまったのではないかと悩んでいます。小さいながらもマイホームを手に入れた者、家庭の事情で単身赴任を

余儀なくされた者、ここにきて自衛隊を辞めようかと悩んでいる者等、二十

五期生として同じ小原台で青春を過ごした仲間達が今は、それぞれの場所で

それぞれの人生を背負って生きています。

少し、情緒的な挨拶になってしまい

ましたが、防大の同期生会は我々にと

つて、そんな様々な仲間達と何時まで

も交流する機会を与えてくれる大切な

ものではないでしょうか。

さて、我々二十五期も昭和五十六年

に小原台を巣立つてから来春で卒業十五周年を迎えることとなりました。そ

コマツは、長年にわたって培った豊富なノウハウと、最先端のトータルテクノロジーで、防衛システムをサポートしています。

#### 〔営業品目〕

- 戦闘車両 ●施設車両 ●弾薬 ●エンジン
- ロボット ●プレス ●レーザー機器 ●電子機器
- 地下掘削機械 ●海洋開発機器 ●建設機械

**KOMATSU** コマツ 特機事業本部  
〒107 東京都港区赤坂2-3-6 TEL. 03-5561-2740



ブレ十五周年として同期生会を六本木鳥居坂ガーデンで開催しました。当日

等で多忙の中、陸海空の現役九十余名

及び東京近辺で勤務するOB二十名弱、総勢一〇〇人を越える同期生の参

加により、懐かしい顔が沢山集まりま

した。しかし、これを企画した私は同

期会の当日、急に出席できなくなり各

幕の担当幹事の諸君には大変ご迷惑を

おかけしてしまいました。司会の空担当幹事・平川、会計の海担当幹事・山

野井、挨拶、乾杯、締めの乾杯等をお願いした陸担当幹事・永井、空幕・吉田、統幕・徳丸、そして民間で活躍するOBの連絡を積極的に行つてくれた久留須等、快く大役を引き受けてくれた諸君の協力に深く感謝しております。

その労あって、当日は盛会だっただけではなく、当初この同期会の大きな目的であつた十五周年に向けた準備態勢の調整や、連絡網の確立を大きく推進することができました。自衛隊だけではなく、二十一世紀の日本をリードする我々二十五期生のパワーと団結を示すべく、来る十五周年記念行事を計画しておりますので、期生会員の皆様の積極的なご支援、ご協力を心からお願ひいたします。概要は左記に示しますが、細部は、後日ご案内申し上げます。

## 十五周年記念行事の概要（案）

時 期 平成八年十月十一日(金)

内 容 または十二日(土)

場 所 未定（六本木周辺）

記念バー（テイ）

在校時お世話になつた方々を招待するとともに、会員は努めて夫人子供同伴で、同期生間の旧友を暖め並びに新しい出会いの場とする。

その他 同期生名簿等の作成・配布

詳細別途

### 問い合わせ先

会長 高鹿 治雄

(海上自衛隊厚木基地)

第三航空隊飛行隊

内線 二七三

自宅 ○四五九三一一八五八

杉山 一弥

(航空自衛隊築城基地)

第八航空團修理隊長

内線 二八〇

自宅 ○九三〇五六一五八三

永井 昌弘

(陸幕人事計画課)

内線 二四五一

山野井 一三

(海幕経理課)

内線 二九三九

平川 義人

(空幕厚生課)

## 期生会便り（二十八期）

会長 田浦 正人

平成七年六月三日(土)、品川プリン

スホテルにて三尉任官記念、防大入校

十周年記念に続く三回目の全国レベル

の同期生会を防大卒業十周年記念とし

て開催しました。当日は土田元学校長

ご夫妻のご臨席を賜り、また同期生の

半数以上の約二三〇名が出席し、会は

大いに盛り上りました。中でも、倉

石君がアメリカから駆け付け皆を驚か

せました。

我々二十八期生は、八九四九名の受験者の中から約十六倍の難関?を突破して五七五名が春まだ浅い小原台に着校しました。入校式までに二十三名が

スポーツ刈りにヘアースタイルを変え小原台を去り、五五二名が入校式に臨みました。在校間、二十八期生は一年

年時一部屋に四年生→一年生まで同居するいわゆる縦割り編成のもとで修業

を積み、さあこれからという二学年進

学時学年別中隊編成が導入されました。

また、三年生時には初めて硫黄島研修が実施され「硫黄島に上陸した防大生」

としてマスコミ等に取り上げられました。卒業時は四五千名（陸上自衛隊二

三四名、海上自衛隊九十七名、航空自衛隊一〇〇名、民間二十名）がそれぞれの進路を選び快晴の小原台を後にしました。

陸上自衛隊一八六名、海上自衛隊六

SHI  
Sumitomo Heavy Industries

## 針路は「海への夢とあこがれ」へ。

日本丸、海王丸に続く、住友重機械建造の3隻目の帆船「あこがれ」。  
たくさんの夢や希望やあこがれを乗せて、世界の海へと航海を続けています。

大阪市セイル・トレーニング・シップ「あこがれ」

任友重機械工業株式会社

本社：〒141 東京都品川区北品川5-9-11(住友重機械ビル) TEL(03)5486-8000  
大阪支社：〒541 大阪市中央区北浜4-5-33(住友ビル) TEL(06) 223-7111

十九名、航空自衛隊八十名、民間一二二名がそれぞれの分野でまさに中堅幹部として活躍しています。特に民間では、村井君が宮城県議会議員、折口君がベルファーレの副社長として大活躍しています。ここで忘れてならないのは志半ばにしてこの世を去った四名（山下君、島田君、迫畑君、生山君）の同期生です。紙面を借りて改めて亡くなられた同期生のご冥福をお祈り申し上げます。

今後の同期生会活動としては、全国レベルの同期生会を二〇〇〇年に開催する予定です。その際のスタッフは、同期生会長と同じ駐屯地に勤務している者という不文律？がありますのでご協力の程をよろしくお願いします。当面同期生会は開催・同期生及び家族に万が一のことがあつた場合の対応・これらを成り立たせるための財源の維持を主な活動として続けていきたいと思います。

### 三十一期生会だより

会長 高山 博光

三十一期生会会員のみなさん、お元気ですか。私たちも卒業してはや八年が立ちました。まだまだ若いと思つておりますが、本年度には四十期生がここ防衛大学校を卒業し、来年度には四十一期生が防大の学生舎生活を担う、また新しい時代となります。我々

三十一期生が防大の学生舎生活を担つてからもうすぐ十年です。自分たちの年齢を考えると、防大時代が遠い昔だと思います。しかし、未だ同期生と再会する度に学生時代がよみがえり、すぐに意気投合できるのは、それだけ小原台での生活が有意義であったからではないかと思います。「あいつは、今何をやっているだろう。」と防大時代の頃を思い起こしておられる同期も多いと思います。そこで、今回は防大卒業後九年目の陸・海・空・民のそれぞれの同期の近況をお知らせいたします。

#### 陸上便り

（藤井 富校普通科部教官）

ほとんどの者が一年前に幹部上級課程を卒業し、いよいよ中堅幹部として脂の乗つた時期です。部隊については中隊長等として、方面・師団各部隊の司令部にあっては（子）幕僚として、あるいは指揮幕僚課程の

学生あるいは受験生として奮闘しています。

また、ほとんどの者が結婚をして家庭と仕事を両立させ、頑張っています。ちなみに私も来年三月一日に念願の結婚を致します。

#### 海上便り

（伊保 幹部中級課程学生）

ほとんどの者がここ数年で中級課程に入校の時期です（教育の期間は

三十二年）。艦艇勤務の者は、航海長・砲雷長・船務長等に、パイロットは航空機を降りて陸上勤務をする時期で、早い者では海幕で勤務している者もいます。各幕僚監部で再会しましょう。

航空便り

（中嶋 第五航空団）

大多数のパイロットは教官として勤務しており、また変わったところでは、PKOで活躍した常井君が政府専用機のパイロット、数名の同期生が次期支援戦闘機F-SXのテストパイロットとして活躍しています。

民間便り

（雲 機械関係会社）

自衛隊を退職して六年が経ちました。バブル最盛期の頃は景気もよく、順調だったのですが、バブルが崩壊し、景気が冷え込んでいる現在では、非常に苦労しています。

以上のように、同期生が各方面で活躍しています。平成五年度には六本木で同期生会を開催し約三五〇名の同期が集いました。このような会を今後も積極的に実施していくこうと考えています。そのためにも名簿の整備が必要です。各自の現況を左記の宛先までお知らせ下さい。

## たしかな技術と実績

日本の夢を追い続けた半世紀です。

●「橋花」に搭載された日本最初のジェットエンジン(NE20)

●日本航空機工業の発展に大きな役割を果した純国産エンジン(J3)

●中等練習機T-4用に量産している国産最新エンジン(F3)

IHI

石川島播磨重工業株式会社

航空宇宙事業本部

〒100 東京都千代田区大手町2-2-1(新大手町ビル) 電話 03(3244)5333

宛 先

二三九

神奈川県横須賀市走水一一一一一十  
防衛大学校第四十四中隊指導官室

高山 博光

内 容

おところ..住所、電話番号

おつとめ..住所、電話番号、所属、

役職、職業等

その他..同期に伝えたい近況等

締め切り 平成八年一月三十一日

三十三期生会便り

会長 中塚 千陽

(内線 八一五二二一一七一)

昭和とともに防大の四年間を終え、  
平成とともに自衛隊生活が始まった三  
十三期生です。

卒業後、幹候校を経て、陸・海・空  
それぞれの部隊に赴任し、現場でバリ  
バリ部下を指揮する三尉、二尉もあつ  
という間に過ぎ、学生時代は二尉の指  
導教官を見ても、「まだまだ先のこと」  
なんて思っていた我々が、もう一尉で  
す。こんな事を書いては大先輩方から  
大目玉を食らいそうですが、「自分達も  
年を取つたんだなあ」と感じ始めてい  
ます。私事で恐縮ではあります、が、現  
在は幹部候補生学校の区隊長として後  
進の育成にあたっています。

入校してくる後輩(なんと今年度は  
防大三十九期生が入ってきたのです)。

つくづく自分の年を感じます。)を見る  
につけ、自分も候補生の頃はこの程度  
には彼らから少しづつ遅れを取つてい  
る現実をひしひしと感じます。また若  
くバイタリティ溢れる後輩達の姿を見  
ると、彼らにこそ部隊を引っ張つても  
らいたいと期待もします。これも防大  
という、縦のつながりのある組織なら  
ではと思います。

期生会員各自が現場指揮官として部  
隊を支えるのに忙しい、もしくは新入  
社員として第一線で活躍するのに忙し  
かったため、これまで三十三期とし  
てまとまつた行事をすることができま  
せんでした。

期生会長としては、卒業後十年目と  
いう節目の年で、世紀末ともなる一九  
九九年に、三十三期生会を開催したい  
と思います。十年という年月が自分達  
にどのような精神的・肉体的変化を与  
えたのか、もしくは全く変わらないの  
かをじっくり見てみようではあります  
とか。

が、開催の上で問題点も数多くあ  
ります。一番の問題は同期の連絡先が  
不明瞭な点です。

陸・海・空もしくは民間会社とそれ  
ぞ個人的には同じ中隊・班・卒研部  
屋等の同期の行方を追つていると思  
いますが、期としてのデータベースがあ  
りません。同窓会名簿の改訂とともに  
衛隊の勤務の周期の早さを考慮し、卒

データの更新も行つてはいますが、転  
勤のサイクルに追いつけません。今後、  
実行委員会を組織し、案内状等を出す  
上での連絡先をまとめるべく、同期生  
についての情報の提供を個人的にお願  
いすることになると思いますが、ご協  
力のほど、宜しくお願ひいたします。

### 三十五期生会紹介

会長 熊谷 三郎

我々三十五期生が防大を後にして早  
四年半が過ぎようとしています。

同期生は各部隊においては初級クラ  
スから中級クラス幹部の仲間入りをし  
てまとまつた行事をすることができま  
せんでした。

期生会長としては、卒業後十年目と  
いう節目の年で、世紀末ともなる一九  
九九年に、三十三期生会を開催したい  
と思います。十年という年月が自分達  
にどのような精神的・肉体的変化を与  
えたのか、もしくは全く変わらないの  
かをじっくり見てみようではあります  
とか。

が、開催の上で問題点も数多くあ  
ります。一番の問題は同期の連絡先が  
不明瞭な点です。

陸・海・空もしくは民間会社とそれ  
ぞ個人的には同じ中隊・班・卒研部  
屋等の同期の行方を追つていると思  
いますが、期としてのデータベースがあ  
りません。同窓会名簿の改訂とともに  
衛隊の勤務の周期の早さを考慮し、卒

## 防災・環境関連調査のパイオニア

**NGP 日本物理探査株式会社**

〒143 東京都大田区中馬込二丁目2番地12号

TEL 03(3774)3211㈹ FAX 03(3774)3180

2期 陸上 本間 敏昭

業後から今日まで密な連絡を続けております。

その他卒業後の特筆すべき活動としては、本年三月東京都周辺に勤務している者を対象に、ホテルニューオータニにおいて同窓会を催しました。

元防衛大学校長夏目先生を招待し同期生約一〇〇名が集うという初回にしては盛大なものでした。また、今年四月に起きました同期生宅（特借宿舎）全焼にあたり義援金（一口一〇〇〇円）を募り、結果約三十万円を本人の元に届けることができました。同期生の団結を再認識とともに、今まで培ってきた住所録の更新がここで役立ちました。

歴史が短い分これといった活動を紹介できませんでしたが、三十五期生会はこれから更に飛躍し、よりアグレッシブに活動していく予定です。今後の活動にご期待ください。

### 三十七期期生会便り

会長 宇佐美和弘（旧姓 松本）

我々、三十七期生が防衛大学校を卒業したのは、平成五年三月です。以来、二年以上経過し、幹部候生学校、各種術科教育等を経て、現在は、部隊において初級幹部として尽力しています。

私は、警戒資料群第一収集隊（稚内）に籍をおいていますが、現在は陸上自衛隊調査学校ロシア語課程に入校中で

す。学生時代は中国語を選択していたが、ロシア語に接する機会は初めてで、徐々に身についてきました。

防大卒業以来、何ら活動は行っていません。そこで、三十七期の皆さんに提案します。何か期生会で実施できる企画があれば、是非、私まで御連絡下さい。

企画だけではなく期生会に対する意見等もあれば御連絡下さい。

また、そろそろ初任地から、異動された方もあるかと思います。名簿を作成したいので必ず私に御連絡下さい。また、この先約三十年間異動の度に御連絡頂ければ幸いです。よろしくお願ひします。

連絡先

実家：〒七七〇

勤務先：〒一八七

小平市喜平町二一三一三  
陸上自衛隊 調査学校

（平成八年三月中旬まで）

〒〇九七

稚内市恵比須五一二一  
航空自衛隊 警戒資料群  
第一収集隊

（平成八年三月中旬から）

同窓生（第7期生）が現役で世に問う  
**軍縮の功罪** 川島 正著

近代文芸社刊 2,000円

冷戦後の軍備管理のあり方を第一次大戦後の山梨軍縮と宇垣軍縮に求める。今必読の書

国を守る誇り！  
国を創る情熱！



日本工機株式会社

本社 東京都港区西新橋2丁目36番1号（新橋桜ビル3階）

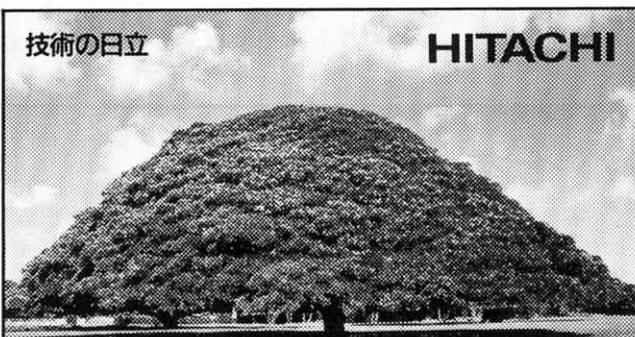
〒105 ☎ (03)3436-1221(代表)

白河製造所 福島県西白河郡西郷村大字長坂字土生2の1

〒961 ☎ (0248)22-3111(代表)

技術の日立

HITACHI



きっと、もっと、すてきな夢を咲かせます。

Interface

◎ 株式会社 日立製作所 公共営業本部  
〒101-10 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地 電話(03)3258-1111(大代)

富士通株式会社

特機システム本部

〒140 東京都品川区東品川2-2-4(東京Mビル)

## 平成七年度同窓会行事

### 広報部からのお知らせ

#### 十月 評議員会

平成六年度決算報告  
平成八年度予算審議

将来構想検討委員会答申の骨子について  
新委員会の設立について  
同窓会会长の改選について  
本年度の顕彰者報告

#### 十一月 顕彰碑献花式

公務で他界された三名の方々のご遺族の参列を賜り、各期の代表者の参列のもと、しめやかに執り行われました。

故 佐々木義人二等海佐（二十一期生）  
故 酒井 秀春一等空佐（二十五期生）  
故 山下 圭一一等海佐（二十六期生）

#### 同窓会総会

総会報告のとおり。

昨年度の本誌から「期生会便り」というコーナーが設けられたことはご承知のことと思います。

昨年度は、十四の期生会から寄稿を頂き、本年度はその他の十三の期生会にお願い致しました。

原稿を送つて頂いた各期生会会長の皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。来年度は、第一には、昨年度及び本年度を除く各期生会にお願い致します。その他の期生会におきましても、掲載のご希望がございましたら同窓会事務局広報部までご連絡下さい。

また本年度から、広告の掲載を始めました。初めてのことであり、手探りで大変な失礼も致しましたが、退官された同窓会会員の皆様のお力添えにより、多くの協賛を頂くことができました。広告を頂きましたお陰を持ちまして、紙面を四頁拡張し、二十頁にすることができました。これに伴い、送料を現状に留めるため紙質を薄くし、さらに初めて一部写真をカラー化することができます。協賛を頂いた各社にはこの場を借りて衷心より厚く御礼申し上げます。

引き続き来年度以降も、広告の掲載を行つて参りますので、各企業等でご活躍される皆様方のご協力のほど宜しくお願ひ申し上げます。

#### 平成七年度同窓会事務局役員

##### 事務局連絡先

| 職 名       | 氏 名   | 期別 | 要員  | 勤 務 先    | 電 話          |
|-----------|-------|----|-----|----------|--------------|
| 会 長       | 中尾 時久 | 1  | (陸) | 日本工機(株)  | 043-243-5569 |
| 副会長兼事務局長  | 安岡 義純 | 5  | (空) | 防大電子工学   | 専 8-40-2272  |
| 副 会 長     | 小柳 毅向 | 11 | 陸   | 陸幕監理部    | 専 8-33-2410  |
| 理 事(法務担当) | 菅沼 祐幸 | 1  | (空) | 菅沼法律事務所  | 03-3465-1650 |
| 理 事(会計担当) | 後藤 薫  | 1  | (陸) | 後藤会計事務所  | 0423-74-4759 |
| 理 事(総務担当) | 松村 嘉夫 | 1  | (空) | 三菱重工(株)  | 03-3202-2295 |
| 副事務局長     | 中村 義一 | 2  | (陸) | 防大材料物性工学 | 専 8-40-2381  |
| 総務部長      | 八代 和典 | 25 | 海   | 防大2大隊事務室 | 専 8-40-2725  |
| 人事部長      | 佐藤 祐治 | 26 | 空   | 防大24中隊   | 専 8-40-2724  |
| 経理部長      | 井藤 等  | 26 | 空   | 防大12中隊   | 専 8-40-2712  |
| 事業部長      | 鍛治 次郎 | 26 | 海   | 防大32中隊   | 専 8-40-2732  |
| 広報部長      | 深山 純一 | 27 | 海   | 防大44中隊   | 専 8-40-2744  |
|           | 五領 隆男 | 27 | 海   | 防大21中隊   | 専 8-40-2721  |

##### 東京分室連絡先

TEL ○一〇六 東京都港区六本木七一十八一  
FAX ○四六八一四四一三三〇一  
専用線 八一四〇一七〇七

〒一三九 横須賀市走水一一一一一  
TEL ○四六八一四一三八一〇  
内線二七〇七

TEL ○三一三四七九一九二五四  
専用線 八一三二一五七四五  
TEL ○一〇六 東京都港区六本木七一十八一  
FAX ○四六八一四四一三三〇一  
専用線 八一四〇一七〇七

## 防衛大学校の近況

### 二大隊五連覇ならず！

平成七年四月二十八日、絶好の天候の下、伝統の春季競技会（カツターニング）が開催されました。本年度は二大隊の五連覇がかかっていましたが、七年ぶりに四大隊が優勝し、五連覇は達成されませんでした。



### 一大隊強し！

平成七年十一月十二日、開校記念祭のメインイベントである棒倒しが約一万名の観衆の見守る中で行われました。予選第一試合の二大隊対三大隊戦では延長でも決着がつかず抽選により二大隊が勝ち、第二試合の一大隊対四大隊戦では、圧倒的な強さを誇る一大隊が順当に勝ち進みました。決勝においても一大隊の攻撃はすさまじく、四十五秒で二大隊の棒を倒し、見事四連覇を成し遂げました。



### 女子学生奮闘す！

防衛大学校も、いよいよ平成八年三月には女子一期生が卒業します。フロンティア精神溢れる彼女達は、

開校記念祭における女子だけのイベントとして四年を中心に演舞と和太鼓を披露してくれました。

同窓会の皆様には、部隊において彼女達を暖かく迎え、そして厳しく御指導を賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。



### 施設整備着々と

平成七年七月、走水海上訓練場に新庁舎が完成し、四十二期海上要員が夏季定期訓練において初めて使用しました。冷暖房完備の快適な環境の中、充実した訓練を行うことができました。

その他、理工学関連実験棟の建設、柔道・剣道・空手道場が武道場として平成九年三月には完成の予定であり、防衛大学校も施設の整備が着々と進められています。

